

題 言

赴 戰 江 の 大 水 電 工 事

二千三百三十五尺の有効落差を利用する朝鮮水電の赴戰江水力發電工事は日本人の工事としては實に空前のものである。

工事箇所は北鮮の無人の高原である、冬期は零下三十度が幾日も續く云ふ處であるから、コンクリート工事のみならず總ての作業に到底内地人の工事経験者も想像に及ばぬ困難がある。最も難工事たるはトンネル工事で、冬期のコンプレッサー運轉及び送空管の設備なき種々参考になる實例を得らるゝ事と思はれる。

堰堤工事は準備設備さへ充分にして掛れば敢て難工事でないかも知れない。

兎に角此の朝鮮の未開地に大規模の文化的事業が起されて、新なる大生産を創める事は日本が現實の一大進展たるのみではない、全地球上の一發展として切に其の工事の圓滿なる完成を望むものである。

三 會 堂 會 館 成 る

一のましまつた工學會館すら未だに出來なやんでゐる時に、三會堂はタツター人の特志家の寄附金で永久的な建築が出來た。

三會堂の建築設計は佐藤功一博士の手になつたもので氏の建築哲學が多分に表現されてをるものと思はれる。

民衆の殿堂三越の修築工事成る

一時は亡國的な贅澤物であるさへ批難された三越呉服店が、今日の現状を見るに何等階級的の感じのない民衆の一大殿堂の觀がある。老若男女の一の無料娛樂場の觀がある。其處に種々様々なる社會的教育が行はれる。努めて善用すべきものである。

工事は横河民輔博士の事務所が設計施工に當り、大震災後の修築工事として最も堅牢に美化されたものである。工事施工上に於ても大に學ぶべきものがあると思はれるが今は唯外觀の一部を紹介する。

セ ラ イ ト の 解 説

混凝土の練合に於て夫々適當な水加減を一定する事は世界的に認められてをる絶對必要條件であるが、若し水の多い軟練でも其強度を硬練のものと同じにする事が出来る云ふ材料が発見されたら、それこそ工事技術の一大福音である。

野澤工學士のセライトの解説は此點に就て一道の光明を與ふるものである。

實用すべきコンクリートの合理的配合表

藤井眞透氏が一月號に於て最近コンクリートの世界的セオリーを實地化すべき通俗なる解説を與へられて、其後讀者の質問に對して御答へする變りに本號に遺補としての一短編と俱に容易に實用せらるゝコンクリートの合理的配合表を載せる事にした、畫報にコンクリートの配合表を見る事は稍々讀者の苦痛であるかも知れないが、其所にアブラム氏の世界的研究の根底がある事を知らねばならぬ。